

## free が「AI 月次監査」機能をリリース 国内初、人工知能を活用した月次監査サービスをユーザー向けに提供開始

free は、人工知能（以下、AI）を活用した「[AI 月次監査](#)」機能を「クラウド会計ソフト free」上で新たにリリースしたことをお知らせいたします。本機能は、中小企業を中心に試算表の作成に必要な月次監査業務を効率化・自動化する機能であり、まずは会計事務所向けに提供を開始します。なお、AI を活用した監査機能をユーザー向けに提供するのは国内初の取組み<sup>（注1）</sup>になります。



The screenshot displays a financial statement interface with several callouts highlighting AI features:

- ① ルールに基づきハイライト (Highlighting based on rules)
- ② ワンクリックで元帳へ仕訳もハイライト (Highlighting entries with one click)
- ③ 仕訳修正すると、AIが類似する仕訳を提案する (AI suggests similar entries when correcting entries)

**AI月次監査**  
-チェックルールと類似仕訳提案-

### ■ 会計上のエラーを自動で提示する「AI 月次監査」

会計士や税理士は、毎月顧問先の残高試算表や仕訳帳をチェックし、請求書、領収書、立替経費、通帳等と照合を行った上で、月次試算表を確定します。そして、月次試算表をもとに経営や経理処理上のアドバイスをを行い、その内容を月次報告書としてまとめて顧問先に送付します。これらの一連のプロセスは「月次監査」と呼ばれ、納税義務の適性な実現や経営状況の正確な把握のために重要な業務になります。一方、月次監査業務においては、会計事務所による資料のチェックが1つひとつ目視で行われ、作業が非効率であることに加え、チェックする内容が属人的であり、月次報告書のフォーマットが定まっていない等が問題点として挙げられます。

そこで、今回 free は月次監査の負担や非効率さを改善するため、「AI 月次監査」機能を新たにリリースします。インターネットバンキングやクレジットカードのウェブ明細を通じて、「クラウド会計ソフト free」で自動作成される「試算表」<sup>（注2）</sup>と「月次推移」<sup>（注2）</sup>に搭載された監査機能です。

具体的には、貸借対照表や損益計算書の各「勘定科目」について、①「税務上のルールとの相違」、②「『クラウド会計ソフト free』をご利用いただく中で生じやすい作業漏れや誤り」、更に③「多額の支出や、粗利益などで過去との変動率が大きい等の異変」に基づき、「AI 月次監査」が修正の必要がありそうな仕訳を自動で探し、アラートとして表示します。

さらに、該当する仕訳を修正すると、AI が「修正した仕訳と類似の仕訳」も修正対象として自動判定し、新たにアラートとして追加で表示します。

今回の新機能により、試算表等の修正作業が一部自動化され、かつ経理業務や知識が十分ではない方が誤った仕訳をまとめて登録した場合などにも、抜け漏れなく修正箇所を見つけることができるため、月次監査業務の処理スピードや決算申告の正確性の向上が期待されます。

なお、AI を活用した監査機能をユーザー向けに提供するのは国内初の取組みになります。

「AI 月次監査」の詳細は[こちら](#)をご確認ください。

注 1：当社調べによる

注 2：勘定科目ごとの合計金額を一覧表にしたもの／貸借対照表と損益計算表の金額を月毎に並べて表示したもの

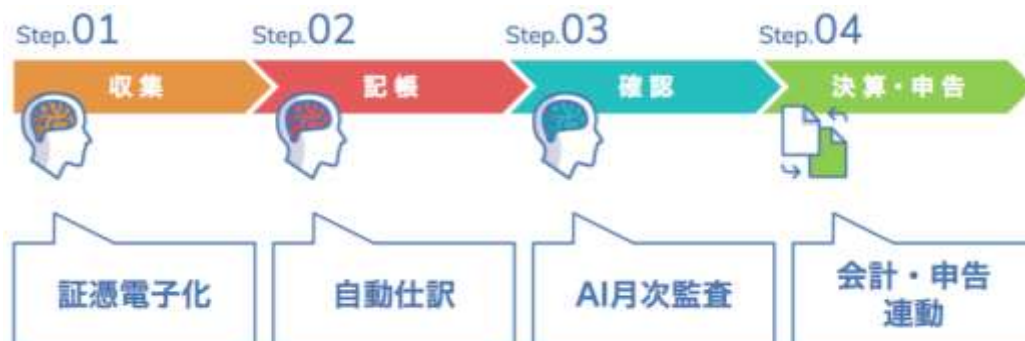
## ■ 本格的に AI が会計業務をアシストする時代へ

free は、これまで AI を活用して、領収書・請求書やアナログ台帳などの証憑を電子化し、電子化したデータを自動で仕訳するなど入力業務の自動化を実現してきました。

さらに 2017 年 3 月から「クラウド申告 free」の提供を開始し、法人税申告や確定申告、そして年末調整などの業務を効率化し、会計業務と申告業務を一気通貫にすることで、会計事務所における業務全体の最適化に尽力してまいりました。

今回の「AI 月次監査」の提供を通じて、自動化の対象が「入力業務」から「チェック業務」にまで広がります。さらに今後は AI の強化を順次進めてまいります。具体的には、「類似仕訳」の提示に加え、AI が「実際にどのように修正すべきか」まで提案する「修正提案」機能を今後提供する予定です。

free は、中小企業において深刻化する人材不足、低価格競争、廃業の増加などの課題に対して、当社の提供サービスにより業務効率化を図り、その結果、会計事務所においては顧問先あたりの対応件数の増加や、業務改善コンサル／経営アドバイスなど高付加価値業務への集中につながるよう取り組んでまいります。





## ■ freee 株式会社について

「スモールビジネスに携わるすべての人が創造的な活動にフォーカスできるよう」をミッションに掲げ、人工知能（AI）技術を使った最先端の機能開発や金融機関との連携により、バックオフィス業務効率化のソリューションを提供している。

### <会社概要>

会社名 freee 株式会社（登記名：フリー株式会社）

代表者 代表取締役 佐々木大輔

設立 2012年7月9日

資本金 96億603万円（資本準備金等含む）

所在地 東京都品川区西五反田2-8-1 ファーストビル9F

### <提供サービス>

「クラウド会計ソフト freee」	<a href="https://www.freee.co.jp">https://www.freee.co.jp</a>
「人事労務 freee」	<a href="https://www.freee.co.jp/hr">https://www.freee.co.jp/hr</a>
「マイナンバー管理 freee」	<a href="https://www.freee.co.jp/my-number">https://www.freee.co.jp/my-number</a>
「会社設立 freee」	<a href="https://www.freee.co.jp/launch/">https://www.freee.co.jp/launch/</a>
「開業 freee」	<a href="https://www.freee.co.jp/kaigyoku">https://www.freee.co.jp/kaigyoku</a>
「クラウド申告 freee」	<a href="https://www.freee.co.jp/advisor/tax-return/">https://www.freee.co.jp/advisor/tax-return/</a>
「freee カード」	<a href="https://www.freee.co.jp/card">https://www.freee.co.jp/card</a>
「freee Developers Community」	<a href="https://developer.freee.co.jp/">https://developer.freee.co.jp/</a>
「経営ハッカー」	<a href="https://keiei.freee.co.jp/">https://keiei.freee.co.jp/</a>
「パラキャリア」	<a href="https://parallelcareer.freee.co.jp/">https://parallelcareer.freee.co.jp/</a>

### <本件に関するお問い合わせ先>

freee 株式会社 広報 (PR)

定田 充司 (Atsushi Joden) E-mail: [pr@freee.co.jp](mailto:pr@freee.co.jp)